

令和8年3月17日

宮津市文化的景観フォーラムを開催します！

～ケラーマン、ヴァルザーの見た明治時代の宮津と文化的景観～

明治41年（1908）、ドイツ人の人気作家、ベルンハルト・ケラーマンと、スイス人の画家、カール・ヴァルザーが宮津を訪れ、帰国後、旅行記である『日本散策記』、『さっさよ やっさ 日本の踊り』がドイツで出版されました。この中でケラーマンは、宮津での日々を「ぼくは日本に滞在中、最もすばらしい時をここで過ごした」と語り、ヴァルザーによる挿画が当時の宮津の姿を生きいきと描き出しています。

こうした外国人の目を通した宮津の魅力と文化的景観の接点を探るとともに、その活用や活かし方について、これまでの事例をもとに考えます。

広報及び当日の様様について取材いただきますようお願いします。

日時、会場

令和8年3月22日（日）午後2時から4時30分
みやづ歴史の館3階 大会議室

内容

講演	「外国人がみた明治時代の宮津と景観」	松田法子（京都府立大学准教授）
事例報告	「旧三上家住宅の保存と活用」	高岡洋輔（NPO 法人天橋作事組）
	「ちしやの再生と活用」	羽田野まどか（(株) 宮津町屋再生ネットワーク）
パネルディスカッション		松田、高岡、羽田野（聞き手：河森一浩）

その他

- ・参加費無料、事前申し込み不要（当日、先着順）
- ・お車でお越しの方は、パーキング浜町にご駐車ください。

【担当者のコメント】

宮津地区の重要文化的景観の追加選定を目指して、城下町として発展した宮津地区の魅力とその活かし方について考える機会とします。是非、ご参加ください。

お問い合わせ先

教育委員会事務局 / 社会教育課 / 社会教育係（文化財保護担当）
TEL：0772-45-1642

宮津市文化的景観フォーラム 「文化的景観とまちづくり」

令和8年 **3** 月 **22** 日（日）

午後2時から4時30分

みやづ歴史の館3階 大会議室

参加料：無料 申込み：不要 [当日、先着順]

講演 外国人がみた明治時代の宮津と景観

松田法子先生 京都府立大学准教授

事例報告 ① 旧三上家住宅の保存と活用

高岡洋輔 NPO 法人 天橋作事組

② ちしやの再生と活用

羽田野まどか (株) 宮津町家再生ネットワーク

※お車でお越しの方は、パーキング浜町にご駐車ください。

城下町として発展した 宮津地区の魅力とその活かし方とは？！

宮津市文化的景観フォーラム「文化的景観とまちづくり」

日時：3月22日（日） 午後2時から4時30分

会場：みやづ歴史の館3階 大会議室

14：00 趣旨説明 宮津地区の文化的景観の特徴

14：15-14：55 講演

外国人がみた明治時代の宮津と景観

松田法子先生 京都府立大学准教授

15：00-15：40 事例報告

①旧三上家住宅の保存と活用

高岡洋輔 NPO 法人 天橋作事組

②ちしやの再生と活用

羽田野まどか (株) 宮津町家再生ネットワーク

15：50-16：30 パネルディスカッション

松田法子先生、高岡洋輔、羽田野まどか

(聞き手：河森一浩 宮津市教育委員会)

◆ 文化的景観とは？ ◆

文化的景観とは、各地域の風土に根ざして営まれてきた、人々の生活や生業によって生み出された景観です。自然との共生の中で育まれた農村、漁村、山村などのほか、城下町や門前町などにも歴史や生活の個性が表れています。

宮津市では、平成26年に天橋立および府中地区が、平成27年には文珠地区が重要文化的景観に選定され、その保存と活用が進められています。



旧三上家住宅 重要文化財

江戸時代の宮津城下町を代表する商家。酒造業を営み、北前船の船主として活躍した。



ちしや

呉服屋の接待用に使われた建物。昭和2年に建築された。「ちしや」は呉服屋の屋号。



新濱のまちなみ